

株式会社ジェイコム埼玉・東日本 川口・戸田局 2021年度放送番組審議会 報告

本審議会は、コロナウィルス感染拡大防止のため、2022年3月アンケート方式での開催および報告するものとする。

<放送番組審議会委員>

石田万友実様	鈴木茂三様
住野昌洋様	田中治夫様
吉川みどり様	若谷陽子様

(50音順)

<事業者：株式会社埼玉・東日本 川口・戸田局>

代表取締役 局長	吉田馨
管理部 部長	佐々木徹
地域プロデューサー	齋藤達志郎

<事業者：株式会社JCOM J:COMプロダクション本部>

埼玉ニュース報道グループ マネージャー 大橋洋一
埼玉ニュース報道グループ さいたま事務所 北條英行

1. LIVE ニュースをご覧になってのご意見

(中継について)

トークに慣れていない素人の方相手の中継は大変かと思うが、もう少し事前に話す内容を打合せしてまとめ、キャスターの方から話をふるようにある程度コントロールすると、より内容が伝わりやすいと思う。

(映像の乱れ)

駅前での生放送ということで、時々起きる映像の乱れが気になった。

店舗紹介は店内だけの紹介ではなく、お店周辺を紹介すると視聴者は土地勘が理解でき親しみを覚えるかと思います。

(番組コンセプトについて)

「今知りたいを地域から生で」のコンセプト通り、地域住民がまさに必要な情報について、

タイムリーに選択し、かつ分かりやすく伝えていた。スタジオを飛び出し現場から伝えるという手法もより地域に密着していると感じた。

画角について

画面が安定せずにくみにくく感じる(カメラが動きすぎる)。またレポーターの手振りがどれも気になります。必要に応じての方が集中して見ることができるのではないかと。

情報について

新型コロナの情報は詳しく紹介していてよかったと感じた。また地域情報なども発信で初めて知ることができた。

【制作担当から】

- ・市民ゲストの方々とのやり取りは、どうしても相手によって話のテンポや返答などがまちまちになってしまう。我々としても充分事前の打ち合わせをして、視聴者に分かりやすく内容が伝わるよう気を付けていきたい。
- ・点字ブロックについては、現場でも細心の注意を払って対応を行っている。通行人についても充分配慮しているが、時折何か言われてしまう事についてはなかなか避けられず苦慮している。
- ・カメラのブレについて、スタッフの力量に個人差があり大変申し訳なく思う。また中継連携の難しさから、今は放送に乗っていないとカメラマンが誤った判断をしてしまい、放送中にも関わらずカメラを変に動かしてしまう事がある。

2. 埼玉の逆襲をご覧になってのご意見

(演出について)

各自治体のシャツお披露目のところは、もう少し地域の特性が出るような演出があるとよかったと感じた。他県の方が見てもわかりやすくなる。

(住野委員:メディアならではの取組に期待)

埼玉150周年を盛り上げるなかで行政がプロデュースするものとは異なるメディアならではの取組で良かった。

(番組テンポについて)

番組店舗もよく、ユーモアも十分入っていてとても興味深くみることが出来ました。

1つ県内63市のTシャツコレクション動画では市名すべてに言葉をいれてもらいたかつ

たと思った。市名は独特な読み方をすることも多いので。

(尺について)

埼玉でもなじみのない土地の様子を垣間見えたのはいいが尺が短すぎる。

Tシャツの地名を読むだけで精一杯。背景にもう少し拘りが欲しい。

余裕をもって制作し、土地の名産品を持つとか、畑に実っている状態などを映像にした方が良い。

【制作担当から】

- ・公開収録は埼玉 150 周年を記念し、埼玉県と連携した企画であったが今後も番組を通じて、埼玉県の認知度・好感度および埼玉県民の愛着度向上に寄与していきたい。PRに関してはご指摘の通りで今後はPRの強化に努めていきたい。

3.「コミュニティチャンネルの取組2021」をご覧になってのご意見

(チャンネルを知る環境づくり)

コロナ禍ではメディアの行動にも変容が求められた。非接触が基本となるなかで、オンライン会議が普及したように、あらためてテレビという存在が見直されるチャンスでもあった。

まずは、チャンネルの魅力を広く知ってもらうための環境づくりと働きかけが必要かと感じた。

(身近な話題の発信)

細かくエリア分けされた特徴を活かし、それぞれエリアの情報、大手キー局では取りあげられない情報を動画で届けられる貴重な存在である。

(コロナ禍での役割)

シークレット花火など視聴者が見たいイベントをしっかりと伝え「コロナ禍だから、出来ないこと、見れないこと」を工夫とアイデアで家にいても楽しめるように出来ていた。

(スポーツ放送について)

コロナ禍でスポーツは無観客試合などが多く、JCOM で放送されていたので大変良かった。今後も地域メディアとして頑張ってもらいたい。

(基本方針について)

地域情報の基本的な方針がぶれないよう、日ごろから芯の通った情報発信をお願いしたい。つまり、地域を大切にしてほしい。

【制作担当から】

・2年以上続いている新型コロナの影響で我々も特別体制で制作や、新型コロナを中心に据えた番組作りをしてきて、難しかったことも多かったが得たものも多かった。この経験をコロナ明けに再び「地元密着」を追求してゆく上での糧としていきたい。いただいたご意見・ご感想も大きな励み、そして参考とさせていただきたい。

以上